

新たな県産種雄牛「丸藤^{まるふじ}3」の能力と特長

山形県農業総合研究センター畜産研究所

研究のねらい

「総称山形牛」のブランド力の向上と県内肉用牛経営の安定化を図るため、遺伝的に優れた能力を持つ雄牛と雌牛を交配して生まれた雄子牛の中から、高い評価の枝肉生産が期待できる新たな県産種雄牛「丸藤3」を選抜した。

研究の成果

- ① 「丸藤3」は枝肉重量、ロース芯面積^{※1}、バラの厚さ^{※2}及び歩留基準値^{※3}に関して高い能力を有している（表1）。
- ② 牛肉のおいしさに関連する脂肪酸「MUFA^{※4}」の育種価^{※5}ランクが評価牛 1,644 頭のうち上位10分の1以内の「H」と、脂肪の質に関しても高い能力を有している（表1）。
- ※1 ロース芯面積：ロース肉の中心となる胸最長筋の第6～7肋骨間切開面での面積。
- ※2 バラの厚さ：第6～7肋骨間切開面における胸膜内面から広背筋外側までのバラ肉の長さ。
- ※3 歩留基準値：胸最長筋（ロース芯）の断面積から枝肉重量と整形した際の部分肉の重量割合を算出したもの。1頭あたりから牛肉の取れる量を表す。
- ※4 MUFA：一価不飽和脂肪酸。割合が高いと脂肪の融点が低くなり、脂肪の“口どけ”に大きな影響を与える。
- ※5 育種価：多数の血統情報と枝肉情報を基にした予測式で算出される産肉能力の予測値のこと。

表1 「丸藤3」産子の枝肉成績

頭数	出荷月齢 (月)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値 (%)	脂肪交雑 (BMS No.)	肉質等級 4・5割合	MUFA 育種価ランク
13 (去勢9、雌4)	30.4 ±1.4	551.6 ±62	80.5 ±13.0	9.6 ±1.1	2.7 ±0.9	77.0 ±2.1	10.0±1.8	100%	H



図1 丸藤3



図2 「丸藤3」産子のロース断面

問い合わせ先：家畜改良部 TEL：0233-23-8815 e-mail：ychikusanken@pref.yamagata.jp